

事業完了報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和4年5月13日 ~ 令和5年3月15日
調査研究事項	<p>《委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究》</p> <p>I 教育課程に関すること</p> <ul style="list-style-type: none">・生徒一人一人の実態に応じた教育内容の充実と効果的な指導についての研究を行う。・より多くの希望者への教育機会の提供拡充に資するため、義務教育未修了者・入学希望既卒者・外国籍の者等に対する学習活動の工夫改善と実態把握に取り組む。 <p>III 都道府県・市町村間の連携に関すること</p> <ul style="list-style-type: none">・近畿夜間中学校生徒会連合会及び全国夜間中学校研究大会を通じて、他地域との交流をすすめて取組の充実を図る。・新型コロナウイルス感染症の状況に応じた市町村間の連携を図るためのオンライン研修を推進する。 <p>IV 教職員の配置・研修に関すること</p> <ul style="list-style-type: none">・研修会等に参加し、協議することにより、教職員の資質を向上させる。・専門スタッフ（日本語指導）を活用した教育活動の在り方について研究する。 <p>VI その他夜間中学における教育活動充実に関すること</p> <ul style="list-style-type: none">・教育機会の提供拡充の工夫について、これまで先進的に取り組んできた本市の状況を積極的に発信するとともに、他都市との情報交換を推進する。・経済的負担を考慮した効果的な学校行事や校外活動等の在り方について研究する。
調査研究のねらい	<ul style="list-style-type: none">・本市では、四つの夜間学級を設置し、在籍者数は近年減少傾向である。一方で、義務教育未修了者に加えて入学希望既卒者、外国籍の者等、受け入れる生徒は多様化している。そのため、年齢や国籍、生活習慣が異なる生徒への対応が難しく、生徒一人一人に寄り添った学習指導が求められる。また、小学校未就学の者から中学を卒業した既卒者まで在籍するという現状において、一人一人の習熟の差はとても大きく、通学の目的も中学校教育の履修のみならず、高等学校受験など多様である。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校夜間学級において教育機会の提供拡充をより一層推進するために、生徒一人一人の実態に応じた教育内容の充実と効果的な指導を行うことが必要であり、そのような指導の向上を図るための調査研究を行うとともに、その成果を積極的に広報する。 ・ また、さまざまな生徒への教育機会の提供拡充に資するため、中学校夜間学級について広く他府県の情報収集及び情報提供を行う等、調査研究を推進する。
調査研究の成果	<p>I 教育課程に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒文集の作成について、1年間の学級活動の柱として、年度当初より取り組んだ。文集指導を通して、生徒理解を深めながら、生徒の日本語運用能力の育成を図ることができた。 <p>また、文集作成を通じて、生徒の学習状況を確認し、複数ある教材の中から最適なものを選択できるよう、常日頃より教員間で生徒の情報を共有し、必要に応じて新しい教材なども作成した。文集作成を通して、生徒が入学前の自身の姿を振り返り、共有することで、自己肯定感の醸成につながった。</p> <p>III 都道府県・市町村間の連携に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022年度近畿夜間中学校生徒会連合会新入生交流会及び第49回近畿夜間中学校連合運動会が実施され、近畿圏内の学校との交流を含めた連携ができた。 <p>また、全国夜間中学校研究大会では、実行委員会等事務局との連携を通じ、全国にある夜間中学の現状を確認することができた。また、他都市の先進的な取組事例や課題等を共有したことで、近畿圏以外の学校とも連携することができた。</p> <p>IV 教職員の配置・研修に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、校外の研修会等にはオンラインで参加するとともに、研究授業、教材作成や日本語指導に係る意見交換等については、感染防止対策に十分留意しながら校内研修を実施した。 ・ 専門スタッフ（日本語指導）を活用した教育活動の在り方について、研究する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、外部講師を招いての研修ができなかった。 <p>VI その他夜間中学における教育活動充実に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他都市との情報交換については、大阪府内の学校と積極的に情報交換を行い、それぞれの課題や教育実践の交流ができた。 ・ 第68回全国夜間中学校研究大会の資料を活用し、他都市の情報

	<p>収集に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none">・校外活動は、感染防止対策に十分留意しながら実施することができた。校内の教育活動では体験できないことを学ぶことができ、学齢期に十分な教育を受けることができなかった生徒にとって貴重な機会となった。 <p>また、バスを利用したことにより、生徒が多数参加し、充実した活動となった。</p> <ul style="list-style-type: none">・各校で作成した文集を、学校協議会や昼間の学校、地域等に配付することにより、夜間学級の広報に努めた。
--	---